

家庭用防災マニュアル

石巻市立向陽小学校

1. 地震発生時の対応

	震度 5 弱以下	震度 5 強	震度 6 以上
登校前 在宅時	<ul style="list-style-type: none"> 保護者が安全確認後、学校へ登校。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者が安全確認後、保護者引率による登校 (引率できない場合は欠席) 	<ul style="list-style-type: none"> 連絡があるまで自宅待機 (状況に応じて安全な場所で待機)
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>＜津波注意報・津波警報・大津波警報発令時＞ 登校せず安全な場所（自宅を含む）で待機する。</p> </div>			
登下校中	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>＜安全確保行動 1-2-3＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 安全な場所（塀、木、電柱や電線などから離れた場所）で、「まず低く、頭を守り、動かない」を実践する。 揺れが止まるまでそこに留まる。 </div>		
	<ul style="list-style-type: none"> 揺れが収まり、安全に移動できる状況になりしだい登下校。 	<ul style="list-style-type: none"> 5 強（物につかまらなると歩くことが難しい）以上だと判断した場合、揺れが収まりしだい、児童環境調査票、わが家の防災メモで定めた避難場所へ避難。 津波注意報、津波警報、大津波警報発令時は避難を継続。現在地が危険と判断したらより安全な場所に移動。 職員は児童の安否確認と通学路点検。 防災行政無線や広報車、テレビ等の公共放送、学校や公共機関からの連絡で安全を確認し行動。（登校、始業時刻変更、臨時休業等） 	
在校時	<ul style="list-style-type: none"> 異状がなければ授業再開、通常下校 授業続行が困難な場合は、職員が道路等状況確認後、引渡し。（一斉メールによる連絡または災害伝言ダイヤル） 	<ul style="list-style-type: none"> 児童は引取り者への引渡し。 	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>＜津波注意報発令時＞＜津波警報・大津波警報発令時＞ 引渡しをせず学校で児童を保護。（保護者等が児童を引き取りに来校した場合、注意報、警報解除まで一緒に学校待機。）</p> </div>			

2. 特別警報に伴う対応

登校前 在宅時	<ul style="list-style-type: none"> 蛇小、蛇中と対応を協議し、一斉メールにより連絡（始業時刻変更、自宅待機、臨時休業など） *前日のうちに判断し連絡しておく場合もある。
在校時	<ul style="list-style-type: none"> 安全に下校できると判断した場合は通常下校、または、集団下校。 下校させるのが危険と判断した場合は引渡し。 授業の打ち切り等の対応もある。
通学路の安全が確保できず登校が危険な場合。	<ul style="list-style-type: none"> 自宅で待機し学校へ連絡。

3. 各種警報に伴う対応（津波警報以外）

表面の「特別警報に伴う対応」に準じて判断します。

*学校は原則として、平常通りの登校、授業、下校です。

4. 大雨・洪水警報に伴う対応（警報が出された段階で、休校の措置をとる場合がある）

大雨・洪水警報	
登校前 在宅時	・天候の急変が予想される場合は 自宅待機
登下校中	・安全な場所に避難（高台、高い建物）
在校時	・安全に下校できると判断した場合は、通常下校、または、集団下校。 ・天候が回復すると判断した場合は、学校待機による下校時刻の繰り下げ、 ・下校させるのが危険と判断した場合は引渡し。 ・授業の打ち切り等の対応もある。

4. 竜巻注意情報・雷注意報等に伴う対応（雹、雷鳴、雷光）

	竜巻注意情報	雷注意報
登校前 在宅時	・天候の急変が予想される場合は 自宅待機	
登下校中	・近くの丈夫な建物に避難する。 ・建物がない場合はくぼみなどに身を伏せる。	・近くの丈夫な建物に避難する。 ・建物がない場合は、高い立ち木からは2 m以上、電柱等から4 m以上離れ、姿勢を低くする。（傘をささない）
在校時	・安全に下校できると判断した場合は、通常下校、または、集団下校。 ・天候が回復すると判断した場合は、学校待機による下校時刻の繰り下げ、 ・下校させるのが危険と判断した場合は引渡し。 ・授業の打ち切り等の対応もある。	

5. 弾道ミサイル発射等に伴う対応

	日本に飛来する可能性あり	弾道ミサイル落下の可能性あり
登校前 在宅時	・直ちに建物の中、又は地下に避難する。 ・できるだけ窓から離れ、できれば窓のない部屋に移動する。・・・ 自宅待機 *ミサイル 通過 の情報があつた際には、 通常登校 とする。	・換気扇を止め、窓を閉め、目張りをして室内を密閉する。
登下校中	・直ちに建物の中、又は地下に避難する。 ・近くに建物等がない場合は、物陰に身を隠すか地面に伏せて頭部を守る。	・口と鼻をハンカチで覆いながら、密閉性の高い建物の中、又は風上に避難する。
在校時	・外にいる場合は、直ちに校舎内に避難する。 ・できるだけ窓から離れ、机の下等で頭部を守る。	・外にいる場合は、口と鼻をハンカチで覆いながら、直ちに校舎内に避難する。 ・職員はけが人の有無を確認、換気扇を止め、窓を閉め、目張りをして室内を密閉する。
	*始業時刻の繰り下げ等を行う場合は、マチコミで知らせる。	*児童の安否や臨時休業の継続・解除等は、マチコミで知らせる。（可能な場合）

*向陽小の校舎は、「震度7程度の地震でも倒壊または崩壊の危険性が低い」と診断されています。

*登下校時間帯を過ぎて登校（帰宅）しない場合は、速やかに学校と家庭が連絡を取り合います。（津波警報・大津波警報発令時は危険区域には立ち入らず、自らが安全な場所へ避難し待機してください。）

*登下校時など、大人がそばにいない状況では児童自身で判断し避難行動をとる必要があります。それぞれの家庭のルールについて指導をお願いします。

*女川原子力発電所における事故で放射線物質など異常な事象が発生した場合は、学校での屋内退避となります。その後、石巻市災害対策本部からの指示により、他の市町村への避難となる場合は、石巻市の広域避難計画により、栗原市、七ヶ浜町、加美町へ避難となります。あらかじめ、どこに避難となるのか、ご確認ください。